

# 第3章 都市基盤が充実したまちづくり

## 第1節 市街地整備

### 現状と課題

本町はこれまで、都市基盤の整備を計画的に推進し、国道24号を基幹軸に、都市圏近郊地として利便性は高くなっています。しかし、社会の成熟や価値観の多様化が進む中では、利便性・快適性の確保に加え、住む人や訪れる人を魅了する個性的なまちづくりが求められています。

そのため、現在計画が進められている京奈和自動車道田原本インターチェンジ周辺地区に、地域特性を活かした都市整備の推進、また主要地方道桜井田原本王寺線における商業施設の設置等を図ることにより、新しい都市の拠点づくりを進める必要があります。

本町の顔となるべき田原本駅周辺は、駅前機能としての広場やアクセス道などが十分ではなく、商店街の活力も低下傾向にあります。また、老朽化した木造の住宅が建ち並び、防災上の立ち後れも懸念されています。今後の田原本駅周辺のまちづくりにあたっては、平成21年度に駅前広場が完成の予定です。駅周辺の整備を行うことにより、活力を生み出す拠点づくりを行い、生活都市としての駅周辺地区のまちづくりを図らなければなりません。

このほか、今後の定住人口の増加策をはじめ、企業誘致の推進などにより、住居系や工業系を中心に新たな土地需要が発生することも考えられるため、秩序ある総合的で計画的な土地利用を推進していくことが重要となっています。

また、本町は豊かな緑と一体化した生活環境とふるさと景観を形成しています。優れた景観は、まちに個性と魅力を与え、人々の愛着心を育て、心のよりどころとなります。今後、さまざまな分野において景観形成への総合的な取り組みを推進することにより、住民が愛着と誇りをもって快適に暮らすことができ、訪れる人々が親しみと魅力を感じる個性とうるおいのある美しいまちづくりを進めることが期待されています。

市街地整備

計画的な土地利用の推進

田原本駅周辺整備の促進

景観に配置したまちづくり

## 施 策

## 1. 計画的な土地利用の推進

## ①土地の有効活用と土地対策の推進

人と自然が調和し、バランスのとれた総合的かつ計画的な土地利用を進めるとともに、都市計画の基本的な方針となる都市計画マスタープランにより、適正かつ合理的な土地利用を計画します。

## ②土地利用の規制・指導

機能的で秩序ある市街地を形成するため、実態に応じた都市計画・用途地域の見直しを計画的に行います。

## 2. 田原本駅周辺整備の促進

## ①田原本駅周辺整備の促進

平成17年度から開始された駅周辺の整備は、本町の活力を生み出す拠点づくりをめざし、平成21年度に完成を予定しています。今後、完成した駅前広場を中心に、生活都市としての駅周辺地区のまちづくりを促進します。また、この整備状況を鑑みながら、笠縫駅・黒田駅前については、整備を検討します。

## ②市街地の活性化

駅周辺整備に伴う中心市街地の活性化として、居住人口の増進を図るため、民間活力と連携し、多様な都市型住宅の整備を促進します。

## ③利便性の向上

再開発事業の目的として、都市生活の利便性があり、新たな駅前利用者の増加をめざし、中心市街地の活性化・利便性の向上を図ります。

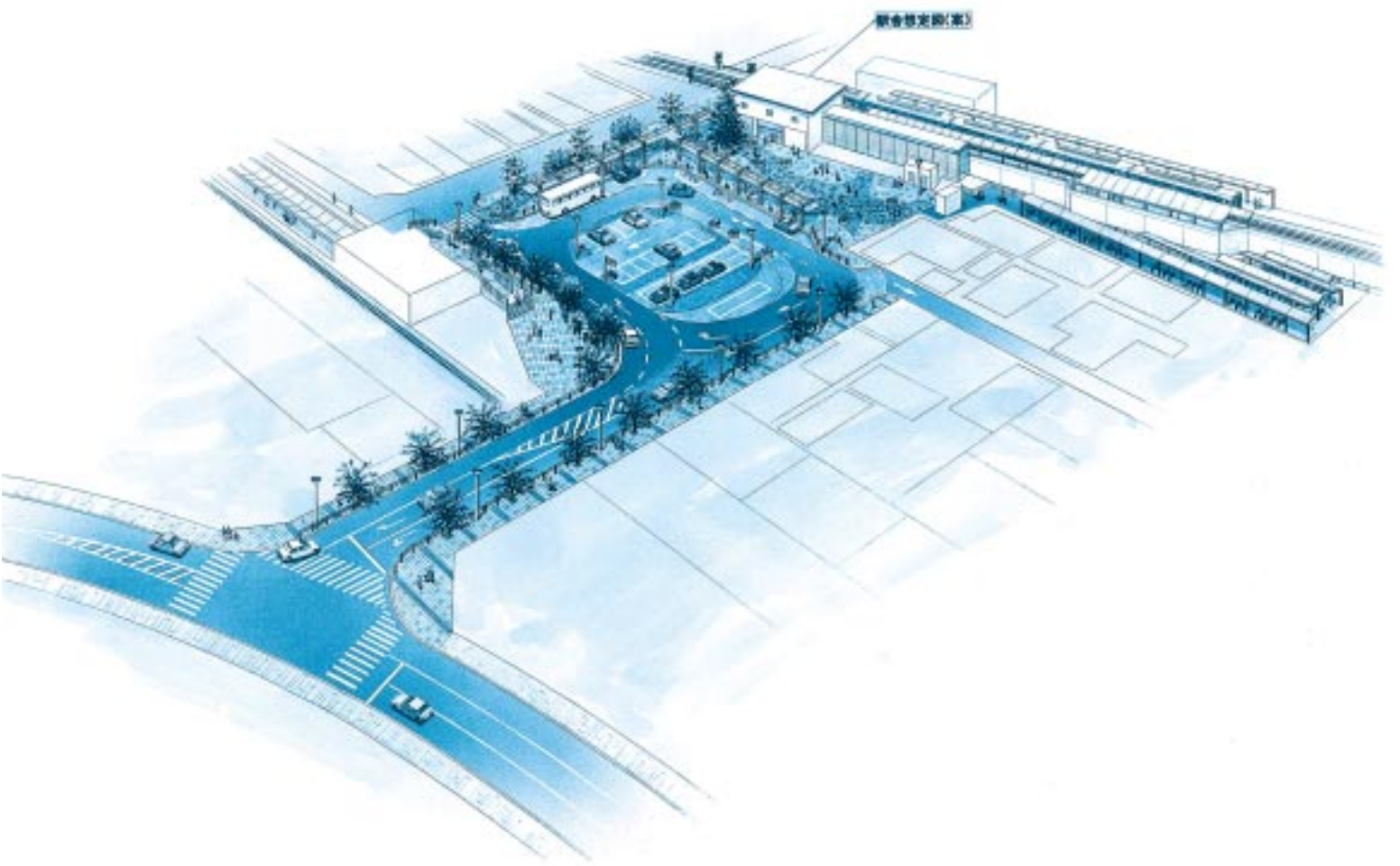
## ④駐輪場の整備

駅周辺整備に伴い、平成19年度に駐輪場が完成し、あわせて駐車場の建設にも取り組みます。

## 3. 景観に配慮したまちづくり

本町の歴史・文化など、地域の特性に応じた景観の形成を促進し、良好な都市景観の創出に努めます。

## 田原本・西田原本駅駅前広場整備イメージパース



### 主要道路



第3章